

http://www.minamih.net/



14・3・15 (土)  
南NEWS NO84

## 葉山町春季サッカー大会 (3年生)

3 / 1 南郷上ノ山公園

○めあて 声を出す 戻りを早くする 逃げるパスをしない

○予選リーグ

対綾南オレンジ 0-9 (前半0-3)

対葉山B 1-5 (前半0-2)

得点者：前川君ん (1)

○順位決定戦

対夏島 3-5 (前半1-3)

得点者：山本君 (2) 加々美君 (1)



2月に入り、毎週末の大雪により1ヶ月間練習ができなかった中での久しぶりの試合となりました。

朝から雨となりましたが、葉山に到着後、試合開始時には、雨も上がり肌寒い中ですが、試合を行うことができました。

今日は、インフルエンザ等による欠席者をカバーするため、2年生の中村くん、海老名くん、牛越くんが駆けつけてくれました。

予選リーグ1試合目は、開始7分に相手のコーナーキックからのシュートをキーパーの徳永くんが顔面で防ぐなど、よいところもありましたが、前半は、自らがドリブルで突破せずパスに逃げてしまう場面が多々あり、パスをカットされカウンターによる失点を重ねてしまいました。

後半は、今日のめあてである逃げるパスをしないことを再確認し、南八王子SCの原点である団子サッカーで望みましたが、ボールを持った人と後ろからついていく選手との間にスペースがありそこからの縦パス一本でカウンターを受け失点を重ねてしまいました。

1試合目の反省を受け、気持ちを新たに2試合目に挑みました。ドリブルでゴール付近まで持ち込みますが得点に結び付けることができませんでしたが、キーパーの海老名くんがシュートを体でとめるなどで0-1で折り返しました。

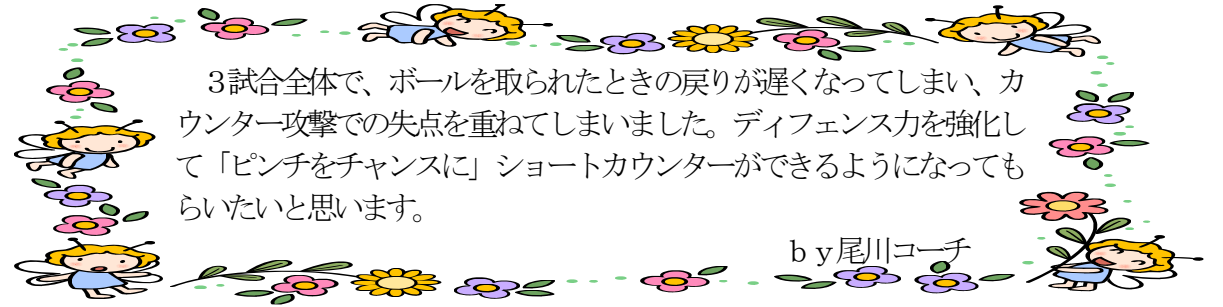
後半に入り、相手の攻撃を足を出すだけでディフェンスになってしまう場面があり、ディフェンス陣が戻る時間を作ることでできず、失点を重ねてしまいました。

その中でも、パスに逃げることなく、ドリブルでゴール前まで持ち込んだ前川くんの強烈な左足シュートがゴールポストに当たりながらゴールへと吸い込まれ1点を返しますが、追いつくことができませんでした。

順位決定戦は、いつもの南の3年生らしい試合となり、個々がドリブルで持ち込みしっかりとカバーする選手が後ろについて、取られたボールをすぐに取り返すことができていました。

2年生の中村君も3年生に負けておらず、クリアーボールをカットしてドリブルで二人をかわしてシュートしますが、惜しくも得点することができませんでした。

また、牛越くんもフィールド内を駆けずり回り、ボールを追いかけまわしてくれたので、何度となく相手の得点チャンスを防いでくれました。前半は、山本君のミドルシュートで1-3で折り返しましたが、後半は点の取り合いとなり、山本君と加々見君がドリブルで持ち込みそれぞれ1点取り、3-4まで持ち込みますが、最後に1点取られ追いつくことができませんでした。



3試合全体で、ボールを取られたときの戻りが遅くなってしまい、カウンター攻撃での失点を重ねてしまいました。ディフェンス力を強化して「ピンチをチャンスに」ショートカウンターができるようになってもらいたいと思います。

by 尾川コーチ

## 5年生 たましんカップ1次トーナメント 3月9日 @文化大G

○めあて：コーチング、ハイボールを先にさわる、決定力を上げる、早いアプローチ。

○対戦相手：若草CS 前半2-1 2-2引き分け PK 2-3 負け  
得点者 佐藤君、能登君

大雪の影響により荒天で開催で行われた「たましんカップ」は負けたら終わりのトーナメントで青梅市の若草SCさんとの対戦となりました。

前日練習では葉山招待での反省点であった「ハイボールの処理」とシュートの「精度を上げる」練習を行いこの日に臨みました。

開始早々2分にDFが1対1になったところをフォローする選手が無くそのまま打たれ、キーパーも反応できずに失点しましたが、直後の5分に前日の練習で落ちて着いてシュートを狙うことを意識させた佐藤君が、ループシュートで相手GKの頭を越えて得点し、すぐに追いつきました。13分には左サイドの佐藤君からトップの富山君、右サイドの能登君につなぎ得点しました。

後半も押し気味で試合を進めますが、ここでもなかなかシュートが決まらずにいると終了間際にCBと1対1になった時のカバーが遅れコースを狙われて失点しました。

この日の最大の収穫はハイボールに先を触れた事です。即座の修得のゴールデンエイジの素晴らしさを感じました。相手のセントキックをことごとくはじき返しチャンスに繋がりました。

シュートはもっともっと精度を上げる練習をしましょう。声を出している選手も増えてきました。ただ全く声が出ない選手もいます。サッカーでコミュニケーションは非常に大切です。

セカンドディフェンダーになるべき選手の判断と早いアプローチが足りませんでした。葉山招待司理この日は慌てて蹴ってしまうシーン無く、タメを作る意識が感じられました。持ちすぎてじれったい場面もありますが、今は失敗を恐れずに自分でやりきる事こどどんチャレンジしてください。

by 清水コーチ